

近年の3R政策をめぐる環境変化②

天然資源(特にレアメタル)確保の状況と展望

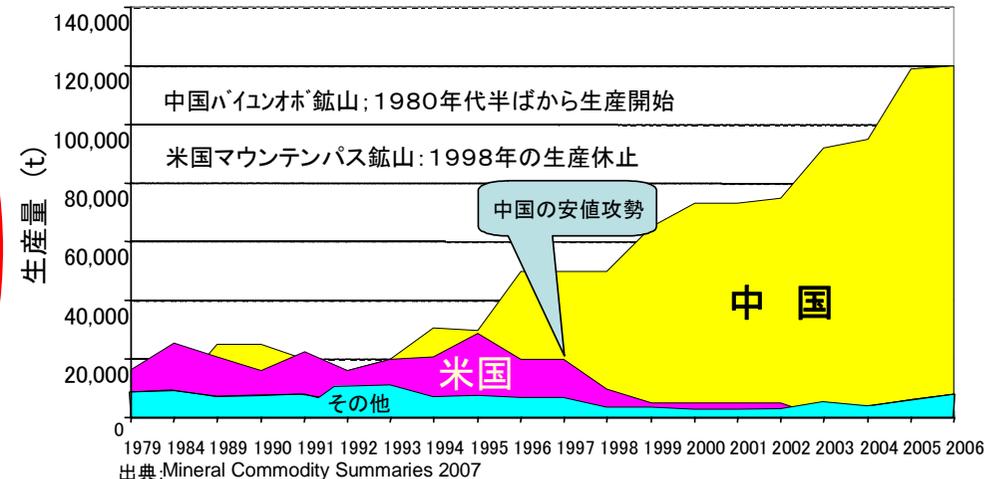
鉱物資源価格の高騰、供給地域の偏在による供給リスクの顕在化

- 近年、多くのレアメタル価格を始めとした鉱物資源価格は高騰し、引き続き高水準。
- 特に、レアメタルの供給は少数の資源国に集中しており、供給リスクが顕在化してきている(レアアース等について、外資による採掘禁止、輸出税の引き上げ、輸出許可数量の削減等、国内資源の囲い込み・輸出抑制政策を展開する産出国も)。

		2002年3月	2007年5月	%
鉄スクラップ	US\$/t	73.9	273.3	370%
アルミ	US\$/kg	1.4	2.7	196%
銅	US\$/kg	1.6	7.4	459%
鉛	US\$/kg	0.5	2.2	441%
インジウム	US\$/kg	85.0	710.0	835%
ニッケル	US\$/kg	6.5	52.2	798%
レアアース(ネオジム)	US\$/kg	7.3	44.0	603%
タングステン(鉱石)	US\$/MTU(*)	35.3	165.0	467%
レアアース(ジスプロシウム)	US\$/kg	34.0	120.0	353%
プラチナ	US\$/kg	16,517.7	41,465.5	251%

*: 三酸化タングステン10kgを含む鉱石の価格

レアアース生産国の推移



レアメタル安定供給対策の展開

- 上流から下流まで官民一体となった総合的なレアメタル安定供給対策。
- 資源外交や探鉱開発といった、上流の供給安定対策に加えて、下流の3R対策の推進が一層重要に。